

平成26年度 大阪府立 大冠 高等学校 第1回 学校協議会

1. 日 時 平成26年(2014年)6月24日(火) 15時30分～17時00分
2. 場 所 本校2階 会議室
3. 出席者 委員7名、事務局員 11名
4. 配布資料 ①第1回学校協議会次第
②学校協議会実施要項
③学校協議会委員名簿
④平成26年度大冠高等学校 学校経営計画および学校評価

5. 内 容

1) 開 会 (校長挨拶)

① クラブ活動で頑張っている本校の現状

- ・野球部 春の大会で大阪府3位、
- ・バトントリング部 近畿大会出場、
- ・和太鼓部 夏にルーマニアで海外演奏、他)

② グローバルな人材育成を目指しての本校の活動の紹介

- ・交換留学制度 (留学生を受け入れ、本校生徒を留学生として派遣)
- ・外部団体からの留学生受け入れ要請の応じる

③ 来年度創立30周年を迎える

2) 委員の委嘱、会長職についての確認、委員および事務局の紹介

☆ 協議会委員 (敬称略)

1	西村 孝彦 (会長)	関西外国語大学英語国際学部教授
2	尾崎 幹夫 (会長代理)	高槻市立第十中学校長
3	石塚 稔	高槻市民生委員・児童委員
4	舟井 禎孝	矢崎化工株式会社大阪工場長
5	生駒 友彦	大冠高等学校同窓会会長
6	平井 加都美	大冠高等学校冠友会会長 (本校元PTA会長)
7	吉野 佐登美	大冠高等学校PTA会長

☆ 事務局

1	山本 稔	校長	6	津村 亜子	保健主事
2	安西 節代	教頭	7	増田 直樹	生徒指導主事
3	木村 一美	事務長	8	木家 亜紀子	進路指導主事
4	阪口 典男	首席 兼 教務主任	9	中原 由布子	生徒会部長
5	下田 淳二	首席 兼 総務部長	10	寺尾 保子	人権教育企画委員長
			11	坂元 孝文	第1学年主任
			12	杉崎 稔	第2学年主任
			13	浅野 徹	第3学年主任

3) 時程の確認、本日の協議会の趣旨説明

4) 第1部 報告

◎平成26年度学校経営計画の概要説明

「国際理解教育の推進」

【総務部】

- ◆4月にオーストラリアのマジー高校から留学生5名来校
- ◆7月末から、14泊15日でオーストラリアのマジー高校へ研修（本校生徒4名）
- ◆他団体からの留学生受け入れに応じ、10月に約1ヶ月1名受け入れる

「学校説明会及び広報活動の充実」

【総務部】

- ◆学区撤廃により、枚方市からの入学生が1学年生徒総数の1割程度いる
→ 広報活動の充実をはかる
- ◆ホームページの充実をはかる

「『確かな学力』の育成、『魅力ある授業づくり』の推進」

- ◆生徒の授業満足度・わかりやすく楽しい授業の評価数値を上げる
(授業内容の工夫と充実)

→5/22に教育委員会から講師を招き校内教員研修を行った

→本校の「しゃべり場」という教員の授業改善自主活動をさらに充実させる

→ICTを活用した授業の取組を推進する

【教務部】

- ◆前・後期入試に対する校内体制整備
- ◆少人数・習熟度別講座編成の継続

「部活動の活性化」

- ◆重点クラブの指定で、予算面で援助を行う。

【生徒会】

◆存続が危ぶまれるクラブの代表者が集まり、話し合ったり、1年生への呼びかけを行ったりしている

- ◆1年生のクラブ入部率は70%である

「クラブ員のリーダーシップによる生活規律の向上」

【生徒指導部】

- ◆野球部員が率先して挨拶をする → 野球部効果で挨拶する生徒が増える
- ◆遅刻数の減少の報告
- ◆身だしなみの指導の充実（ピアスをさせない）
- ◆交通安全指導の徹底（自転車事故の増加・マナーの低下を防ぐ）
- ◆懲戒件数も減っている

「夢と志（目的意識）を持つ生徒の育成に向けた指導計画の確立」「教育相談機能のさらなる充実」

- ◆生徒の希望進路の実現への取組のため進学主担を設置
- ◆さまざまな差別的な事象の背景（社会環境や生徒が抱えている諸問題など）についての理解を深め、指導に生かす。 → 教職員研修(7/8)

【進路指導部】

- ◆26期生の進路指導報告

【人権委員会】

- ◆生徒の自尊感情と人権尊重の意識を高める（人権研修・教育活動を通して）

「教育相談機能のさらなる充実」

【教育相談】

- ◆外部から2名のスクールカウンセラーを招く
(1名は府から1日3時間×17回、1名は本校独自1日3時間×15回)
- ◆教育相談室の整理を行う

5) 第2部 協議

◎協議：テーマ …… 大冠高校の生徒指導について

☆服装指導について

☆登下校のマナー・自転車について

(「第1部の報告」を踏まえて)

※「Q」は委員からの質問、「A」は事務局等からの回答、「O」は委員からの意見・提言等をそれぞれ表す。

- O 「第1部の報告より、クラブ活動での生徒の頑張りや成果によって生徒と教師との信頼が厚くなり、学校全体が盛り上がっている印象が感じ取れる。」
- Q 「国際交流の盛り上がりについて、学校はどのような様子か。」
- A 「4月にオーストラリア・マジー高校の生徒5名が本校を訪問。歓迎セレモニーを行った。準備期間が短かったが、首尾良くいった。放課後の交流会では予想を上回る40～50名の生徒が参加して、大いに盛り上がった。今後は、学校全体での受入態勢を整え、計画を十分に練るなど、さらに充実した、実りある取り組みにしたい。」
- O 「今後もグローバルな取り組みを希望する。」
- Q 「『生活規律の向上』に関する報告があったが、学校や生徒の現状はどのようなものか聞きたい。」
- A 「全体として落ち着いている。懲戒件数も年々減少している。
①『みだしなみを整える』、②『遅刻をなくす』、③『交通マナーを守る』を三本柱として生徒指導に取り組んでいる。①に関しては、ピアスの禁止などを重点に指導を強化している。②に関しては、5月時点の遅刻延べ数は昨年の1年生が74回でその前年度よりかなり減少したが、今年の1年生は32回でさらに減少している。③に関しては、本校生の90%以上が自転車通学をしている。自転車の並列走行など自転車マナーに関する苦情電話が10件入った。通行人とぶつかるなどの、接触事故も起こった。本校のみならず、近隣の高校も同様の問題を抱えている。」
- O 「第1部の報告を聞いて、各協議会委員の方から感想や意見、提言を伺いたい。」
- O 「スマホを見ながら、音楽を聞きながらの運転など、自転車マナーが非常に悪い。生徒への見守り・声かけが大切である。我が校でも生徒指導面で厳しい状況の時期もあったが、生徒への見守り・声かけを重視し、実行した。生徒の自尊心を高め、授業への参加率を上げる取り組みを続けてきた。昨今では、『学びの姿が未来に反映する授業』・『生徒が自ら語る授業』・『ICTを活用した授業』

などに重きを置き、教員全体で目指している。」

- 「まず、今回の会議は事前に配布し、一読できるよう配慮してもらいたい。大冠高校の生徒の服装は以前より良くなった印象である。自転車マナーに関しては、私たちが立って見ているところではルールを守って走行しているが、見えない場面ではどうなのだろうか。3月末のマッシュルーム・コンサートで竹の内地域の方々に出演の機会を設けていただき、地元地域の皆さんは大変喜んでいた。非常にありがたいことであり、感謝したい。地域連携に関しては大冠高校の取り組みは大いに評価できる。ホームページは度々拝見しているが、情報をタイムリーに提供していくことは先生方にとって非常に煩雑な作業に思われる。外部に委託するのがひとつの良い案だと思う。」
- 「あいさつ、服装に関しては企業の人間の立場からみると、まだまだ不十分な印象がある。学校協議会の内容を報告の形でホームページにアップすべきである。」
- Q 「自転車保険について、自転車通学者は強制加入か、任意加入なのか。また、万一事故に遭ったときの対応を、学校で指導しているのか。」
- A 「自転車保険は任意加入であるが、入学時の合格者説明会で加入を勧めている。事故対応については、特に指導はしていない。」
- 「生徒にとって高校3年間で将来を見定めるのはなかなか容易なことではない。3年になっていきなり進路選択を迫るのではなく、1・2年の時から進路目標や目的意識を持たせつつ、計画的・継続的に進路指導をするようにしてほしい。」
- 「私も『夢』や『希望』が『やる気』を生み出すと思っている。3年になってからではなく、1年から大学見学会にぜひ行かせてほしい。生徒の自主性に任せるのではなく、学校側で校外学習のような形で大学見学等を体験できる機会・企画をお願いしたい。子どもたちが「やる気、興味、目標」を持って学習に取り組めるよう、先生方にも工夫をお願いしたい。」
- 「自転車通学・自転車マナーについては、やはり常に心配で、ヒヤリとする場面を目のあたりにすることもある。先ほども話題に出ていたが、自転車通学者には自転車保険への加入を義務づけてはどうか。また、警察等に講師を依頼し、交通安全マナーの講習会を4月当初に受講させてほしい。この2つの条件をクリアしないと自転車通学は許可しないぐらいの方針でよいと思う。」
- 「本日のまとめとして締めくくらせていただくと、ちょっとした達成感を大切にしたいと思う。日々のわずかな充実感の積み重ねが大きな成果につながっていく。ウィル・パワー (Will Power) を大冠高校でも生かしてもらえればと思う。」

6 諸連絡

◎第2回学校協議会の日程 …… 平成26年11月18日(火)に開催予定

以上

〔学校協議会の様子〕

